

## 第 3 章 公共交通の現状等

## 第3章 公共交通の現状等

### 3-1 交通事業者

#### (1) 交通事業者

本市に本社又は営業所が立地する交通事業者は、次のとおりです。

表 市内公共交通事業者一覧

No.	種別	交通事業者	区分	事業エリア			備考
				五所川原地域	金木地域	市浦地域	
1	鉄道	東日本旅客鉄道（株）	旅客鉄道事業者 ※1	●			-
		津軽鉄道（株）	旅客鉄道事業者	●	●		-
2	路線バス	弘南バス（株）	一般乗合旅客自動車運送事業 ※2 一般貸切旅客自動車運送事業	●	●	●	-
3	タクシー	五所川原交通（株）	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業 （乗合タクシー）	●			保有台数 特大：2台 普通：21台
		（株）尾崎タクシー	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業 （乗合タクシー）	●			保有台数 特大：3台 大型：1台 普通：19台
		（株）成田観光タクシー	一般乗用旅客自動車運送事業	●			保有台数 普通：4台
		（株）木村タクシー 五所川原営業所	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業 （乗合タクシー）	●			保有台数 特大：1台 普通：10台
		（有）能率タクシー商会 五所川原営業所	一般乗用旅客自動車運送事業	●			保有台数 特大：1台 普通：6台
		（有）金木観光タクシー	一般乗用旅客自動車運送事業		●		保有台数 特大：1台 普通：4台
		（有）市浦タクシー	一般乗用旅客自動車運送事業			●	保有台数 特大：2台 普通：1台

※車両保有台数は令和4年度現在のものです。

#### 【用語の説明】

※1 旅客鉄道事業者・・・ 自社が保有する鉄道で旅客を運ぶ事業

※2 一般乗合旅客自動車運送事業・・・ 有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業のうち、不特定多数の旅客を運送するバス等

(2) 鉄道、路線バス、一般タクシー以外の交通事業・移動サービスの状況

本市における鉄道、路線バス、一般タクシー以外の交通事業・移動サービスの状況については、次のとおりです。

表 その他の交通事業、移動サービス一覧

種別	交通手段	区分	事業エリア		
			五所川原地域	金木地域	市浦地域
その他	(1) 川倉の湯っこバス	市の直営運行		●	
	(2) 市浦医科診療所患者送迎タクシー	タクシー事業者への委託運行			●
	(3) 五所川原市スクールバス・タクシー	バス事業者・タクシー事業者への委託運行	●	●	●
	(4) 五所川原地域予約型乗合タクシー	タクシー事業者が運行	●		
	(5) 市浦地域予約型タクシー	タクシー事業者への委託運行			●
	(6) 自家用有償旅客運送	NPO法人や自治会による運行	●	●	
	(7) 民間企業による移動サービス	自社による運行又は委託運行	●	●	●

※ (1) から (3) までの実施主体は五所川原市となります。

### 3-2 市内における公共交通の運行状況等

#### (1) 市内における公共交通の運行状況等

五所川原市を運行する公共交通の状況については、次のとおりです。

##### ①JR 五能線

東日本旅客鉄道（株）秋田支社が運行し、JR 五所川原駅に停車する JR 五能線の概要については、次のとおりです。

JR 五所川原駅の一日平均乗車人数は平成 30 年度（2018 年度）から減少傾向にありますが、令和 3 年度（2021 年度）は前年度から微増となっています。

表 運行概要

路線名	運行経路等				運行本数				運行事業者
	起点	主要経由地	終点	沿線市町村	平日		休日		
					上	下	上	下	
JR五能線	東能代駅	八森駅、深浦駅、 鱒ヶ沢駅、木造駅、 五所川原駅、 陸奥鶴田駅、板柳駅、 藤崎駅	川部駅	五所川原市、能代市、 八峰町、深浦町、 鱒ヶ沢町、つがる市、 鶴田町、板柳町、 藤崎町、田舎館村	9	9	9	9	東日本旅客 鉄道(株)

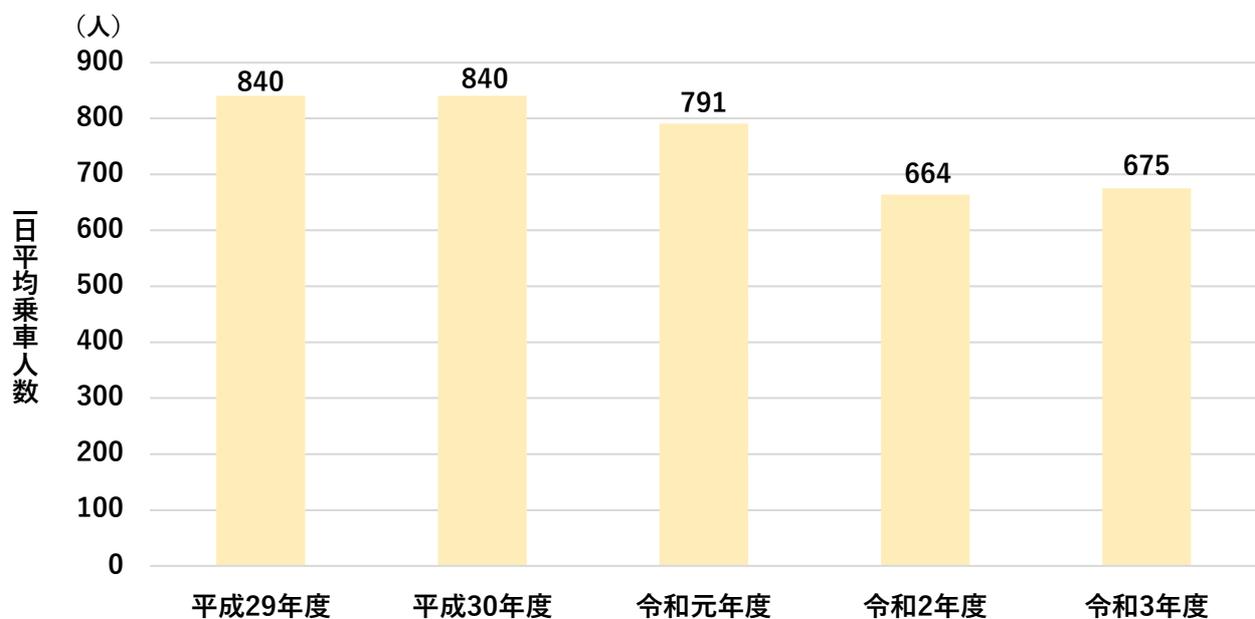


図 一日平均乗車人数の推移 (JR 五所川原駅)

資料：東日本旅客鉄道（株）HP

②津軽鉄道

津軽鉄道（株）が運行し、津軽五所川原駅～川倉駅に停車する津軽鉄道の概要については、次のとおりです。

津軽鉄道の利用者数は令和2年度（2020年度）に新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、それに伴い旅客収入も同様に減少していますが、令和3年度（2021年度）では微増となっています。

表 運行概要

路線名	運行経路等				運行本数				運行事業者
					平日		休日		
	起点	主要経由地	終点	沿線市町村	上	下	上	下	
津軽鉄道	津軽五所川原駅	金木駅	津軽中里駅	五所川原市、中泊町	14	14	13	13	津軽鉄道(株)

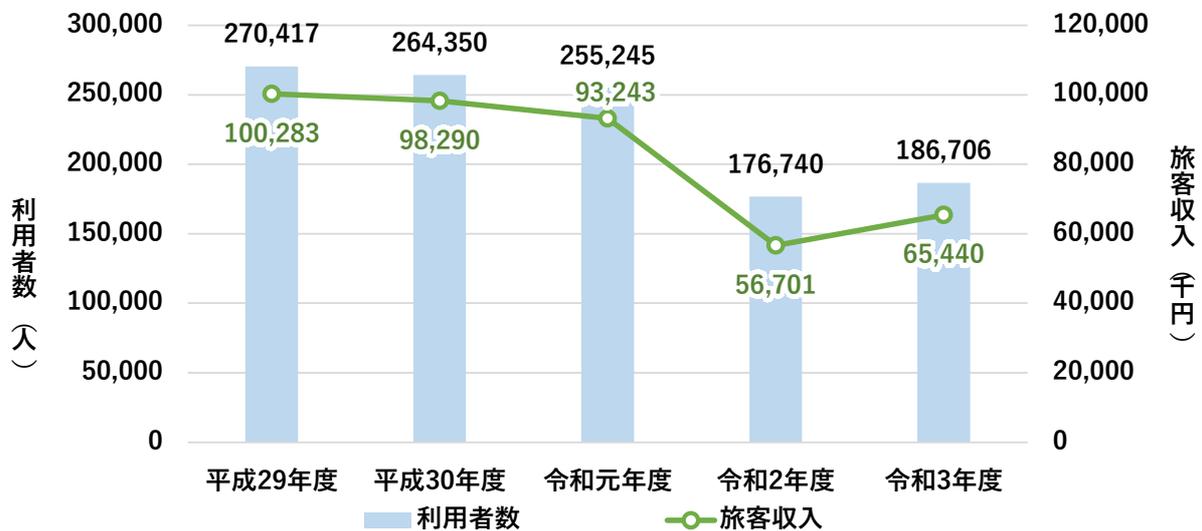


図 利用者数と旅客収入の推移

資料：津軽鉄道（株）

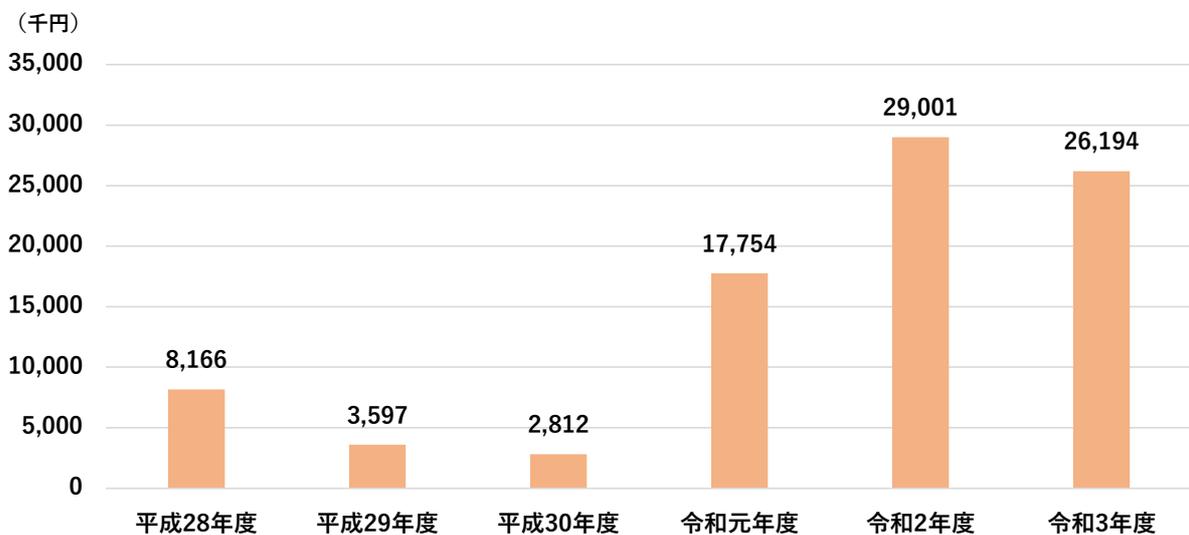


図 津軽鉄道への市の財政負担額（支出）の推移

資料：五所川原市

③路線バス

弘南バス（株）が運行する市内路線バス及び広域路線バスの概要については、次のとおりです。  
 路線バスの利用者数は減少傾向ではあるものの、令和3年度（2021年度）のELM120円バスにおいては、前年度から微増となっています。

市の財政負担額は、市内路線・広域路線ともに路線再編等の効果により減少傾向にあったものの、広域路線においては令和3年度（2021年度）で増加に転じています。

表 運行概要

区分	路線名	運行経路等				運行便数				年間利用者数 (令和3年度)
		起点	主要経由地	終点	沿線市町村	平日		休日		
						上	下	上	下	
市内 路線	藻川線	弘南バス五所川原営業所	五所川原駅前、 五所川原小学校前	下藻川	五所川原市	3	3	3	2	5,466人
	水野尾線	弘南バス五所川原営業所	五所川原駅前、 ELMの街	水野尾コミセン前	五所川原市	3	3	3	2	4,600人
	飯詰線	弘南バス五所川原営業所	五所川原駅前、 飯詰駅通り	下岩崎	五所川原市	3	3	3	2	6,961人
	ELM・五所川原駅線	五所川原駅前	つがる総合病院前、 五所川原市役所前	ELMの街	五所川原市	15	15	15	15	令和4年度より 運行開始 (市循環バス)
	若葉環状線 (東回り)	ELMの街	富士見団地、若葉2丁目	ELMの街	五所川原市	4	-	4	-	
		若葉2丁目	松島町4丁目	ELMの街	五所川原市	1	-	1	-	
	若葉環状線 (西回り)	ELMの街	富士見団地、若葉3丁目	ELMの街	五所川原市	4	-	4	-	
		ELMの街	松島町4丁目	若葉3丁目	五所川原市	1	-	1	-	
	みどり町環状線	ELMの街	米崎、みどり町6丁目	ELMの街	五所川原市	8	8	8	8	
		コミセン栄前	米崎、みどり町6丁目	ELMの街	五所川原市	1	-	1	-	
ELMの街		コミセン栄前、米崎	みどり町6丁目	五所川原市	1	-	1	-		
広域 路線	青森五所川原線	五所川原駅前	つがる総合病院前、 新青森駅南口	青森営業所	五所川原市、 青森市	14	14	14	14	151,302人
	弘前五所川原線	五所川原駅前	ELMの街、藤崎駅通り	弘前バスターミナル	五所川原市、 弘前市、鶴田町、 板柳町、藤崎町	6	6	6	6	26,170人
	広田団地線	市営住宅前	コミセン栄前、 五所川原駅前	木造高校前	五所川原市、 つがる市	1	-	-	-	1,990人
	豊川線	弘南バス五所川原営業所	五所川原駅前、 稲垣支所前	豊川	五所川原市、 つがる市	3	3	3	3	2,266人
	出来島線	弘南バス五所川原営業所	五所川原駅前、 木造駅通り	出来島北口	五所川原市、 つがる市	5	5	4	4	28,563人
	小泊線	弘南バス五所川原営業所	かなぎ病院前、 中里駅前	小泊案内所	五所川原市、 中泊町	6	6	6	6	40,697人
	市浦庁舎線	弘南バス五所川原営業所	つがる総合病院前、 木造高校前	市浦庁舎前	五所川原市、 つがる市	9	6	6	4	48,206人
	鱒ヶ沢線	弘南バス五所川原営業所	つがる市役所前、 鱒ヶ沢駅前	小夜	五所川原市、 つがる市、 鱒ヶ沢町	10	10	6	6	60,684人
	黒石高野線	黒石駅前	国立青森病院前、 浪岡駅前	上高野	五所川原市、 青森市、黒石市	3	3	-	-	4,764人

※市内路線及び広域路線の運行事業者は弘南バス（株）です。

※ELM120円バスに関しては、令和4年度から市循環バス（路線バス）として運行しています（市とELMが共同支援）。



図 利用者数の推移

資料：弘南バス（株）

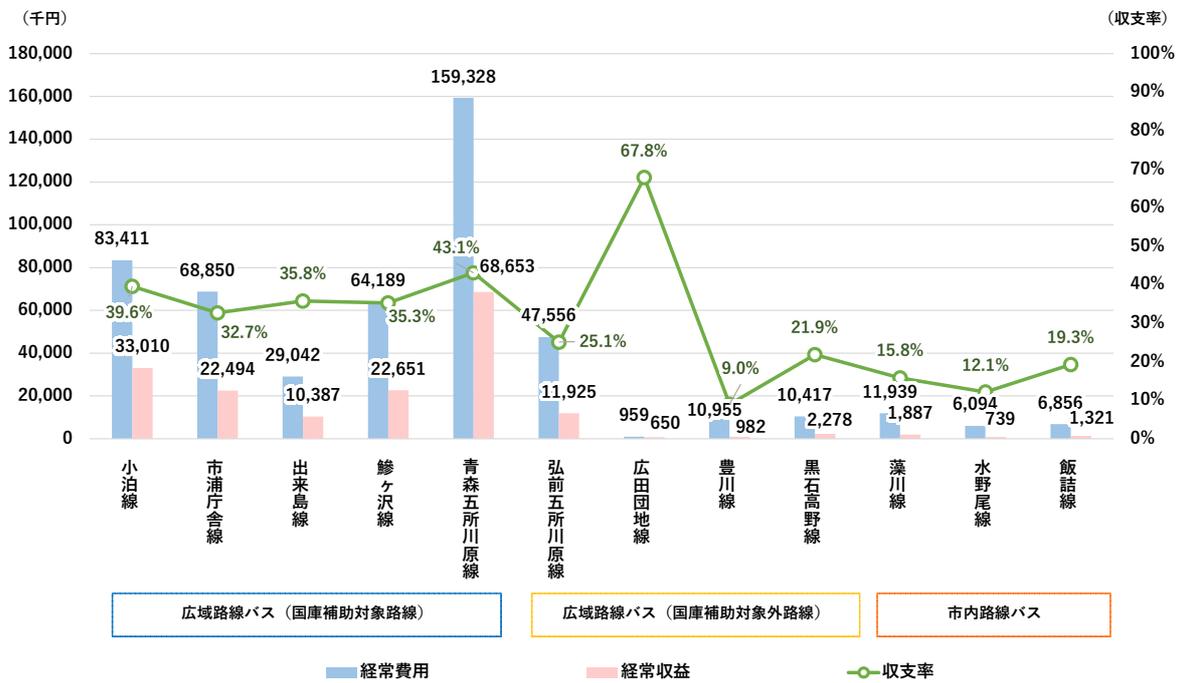


図 路線バスの収支状況（令和3年度）

資料：弘南バス（株）

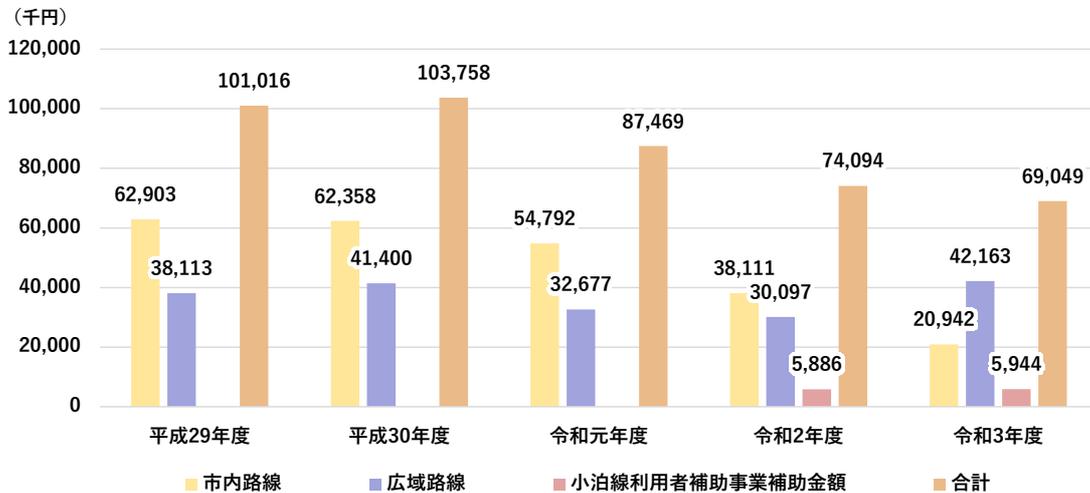


図 路線バスへの市の財政負担額（支出）の推移

資料：五所川原市

④五所川原地域予約型乗合タクシー、市浦地域予約型タクシー

(株)尾崎タクシー、(株)木村タクシー、五所川原交通(株)が運行する五所川原地域予約型乗合タクシー及び(有)市浦タクシーが運行する市浦地域予約型タクシーの概要については、次のとおりです。

五所川原地域予約型乗合タクシー、市浦地域予約型タクシーの利用者は十三地区以外の全ての地区において前年度より微増となっています。

表 運行概要

路線名	地区名	運行経路等		運行本数			交通事業者
		起点	終点	運行日	行き	帰り	
五所川原地域予約型乗合タクシー	飯詰・金山地区	自宅	水野尾コミセン、五所川原駅	火・木曜日	2	2	(株)尾崎タクシー
	長橋地区	自宅	水野尾コミセン、五所川原駅	月・金曜日	2	2	(株)木村タクシー
	梅沢・七和地区	自宅	弘南バス五所川原営業所、五所川原駅	火・金曜日	2	2	五所川原交通(株)
	中川地区 (大字川山・種井)	自宅	五所川原駅	月・水曜日	2	2	(株)木村タクシー
市浦地域予約型タクシー	桂川地区	自宅	市浦総合支所	金曜日	3	3	(有)市浦タクシー
	十三地区	自宅	市浦総合支所	火曜日	3	3	

※五所川原地域予約型乗合タクシー及び市浦地域予約型タクシーは、令和2年度から運行しています。  
 ※五所川原地域予約型乗合タクシーの料金は1回(片道)300円、市浦地域予約型タクシーは無料です。

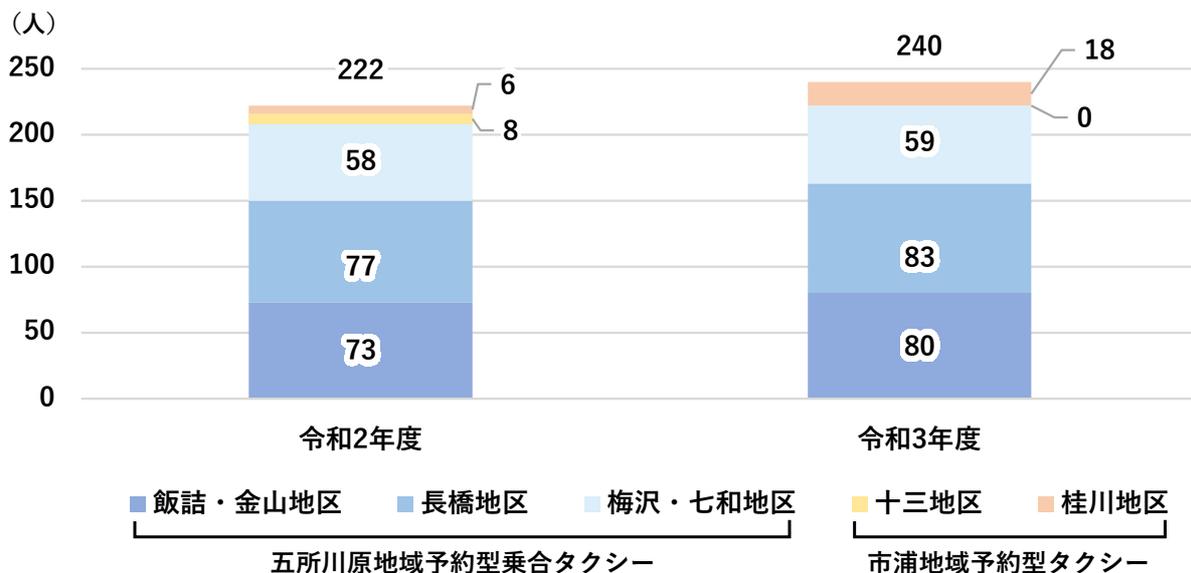


図 利用者数の推移

資料：五所川原市

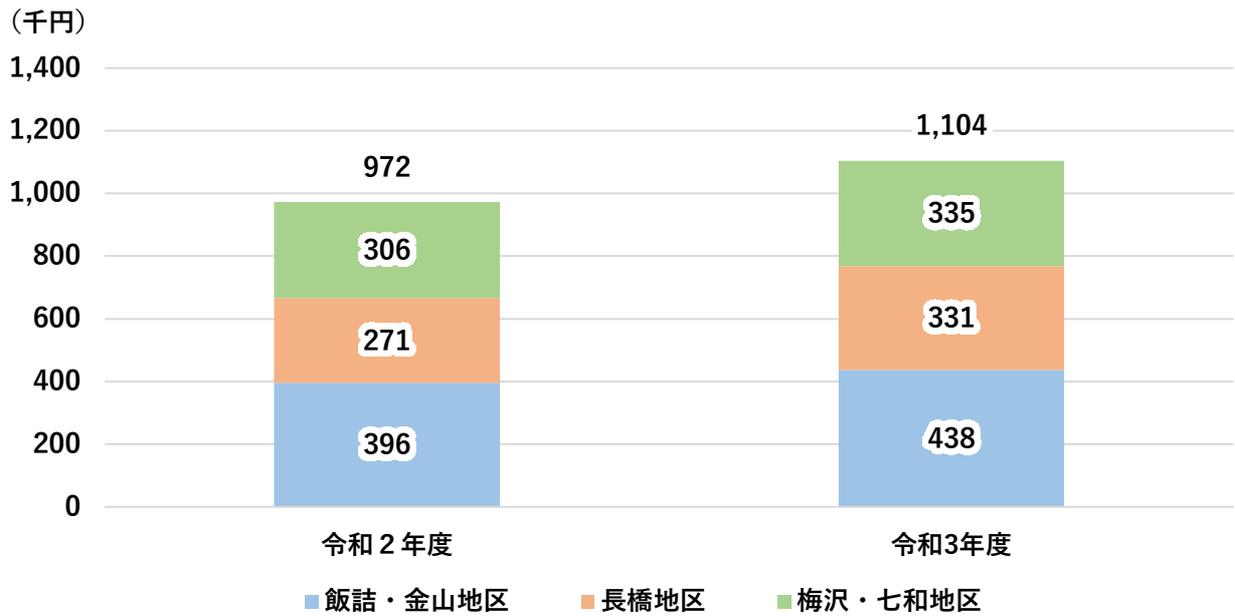
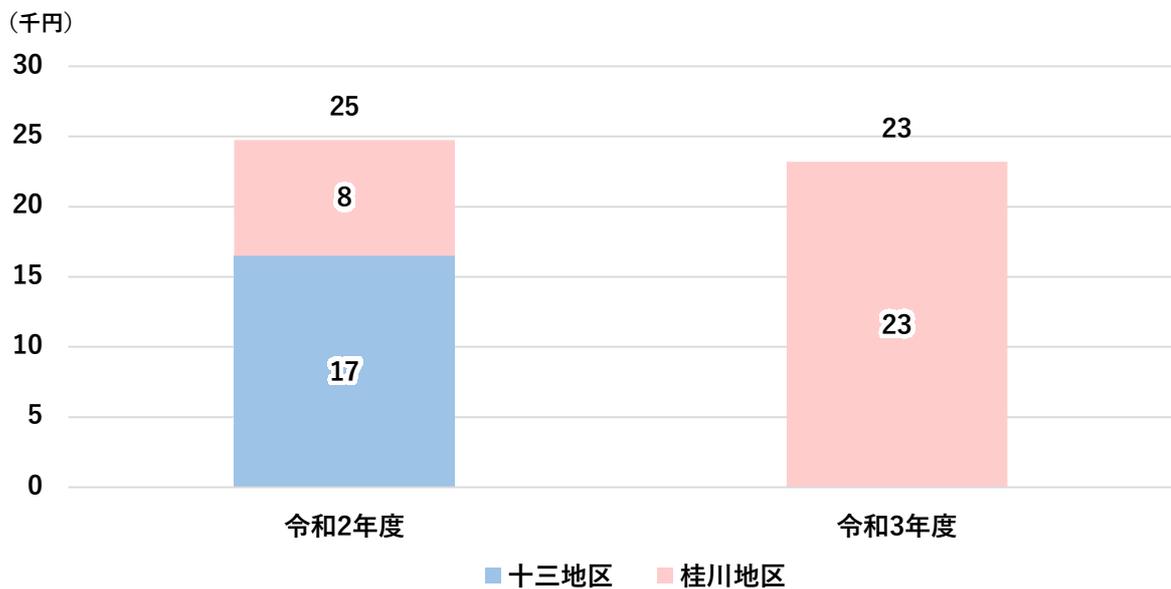


図 五所川原地域予約型乗合タクシーへの市の財政負担額（支出）の推移  
 （飯詰地区・金山地区、長橋地区、梅沢地区・七和地区）

資料：五所川原市



※令和2年10月から運行開始

図 市浦地域予約型タクシーへの市の財政負担額（支出）の推移  
 （十三地区、桂川地区）

資料：五所川原市

⑤川倉の湯っこバス

市の直営により嘉瀬・中柏木地区、金木・蒔田・神原・大東ヶ丘地区、藤枝・川倉・喜良市地区を運行する川倉の湯っこバス（コミュニティバス）の概要については、次のとおりです。

川倉の湯っこバスの利用者は令和元年度（2019年度）から減少傾向となっている一方で、市の財政負担額は増加しており、令和3年度（2021年度）は3,000千円を超えています。

表 運行概要

路線名	運行経由			運行曜日	運行本数		年間利用者数 (令和3年度)
	地区	主な経由地	終点		行き	帰り	
嘉瀬西部線	嘉瀬・中柏木地区	金木タウン センターノア、 かなぎ病院、 産直メロス、 金木総合支所、 金木駅	川倉の湯っこ	火曜日	1	2	1,251人
嘉瀬東部・中柏木線			川倉の湯っこ		1	2	
金木西部・蒔田・神原線	金木・蒔田・ 神原・大東ヶ丘地区		川倉の湯っこ	水曜日	1	2	1,022人
金木東部・大東ヶ丘線			金木タウン センターノア		1	2	
藤枝・川倉線	藤枝・川倉・ 喜良市地区		金木タウン センターノア	木曜日	1	2	1,034人
喜良市線			金木タウン センターノア		1	2	

※川倉の湯っこバスの料金は無料です。

※川倉の湯っこバスは、令和2年度の再編の際に「金木タウンセンターノア」「かなぎ病院」「金木総合支所」「金木駅」の4つの拠点を經由することとし、令和4年度に「産直メロス」を追加しています。

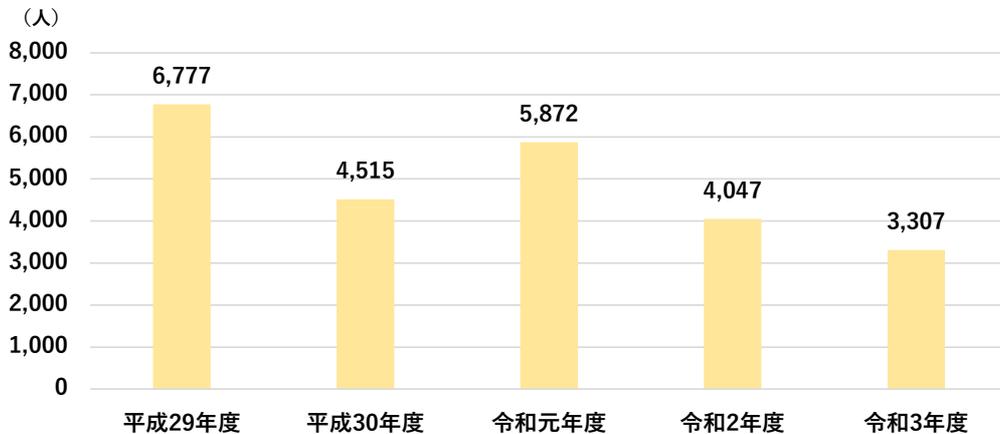


図 利用者数の推移

資料：五所川原市

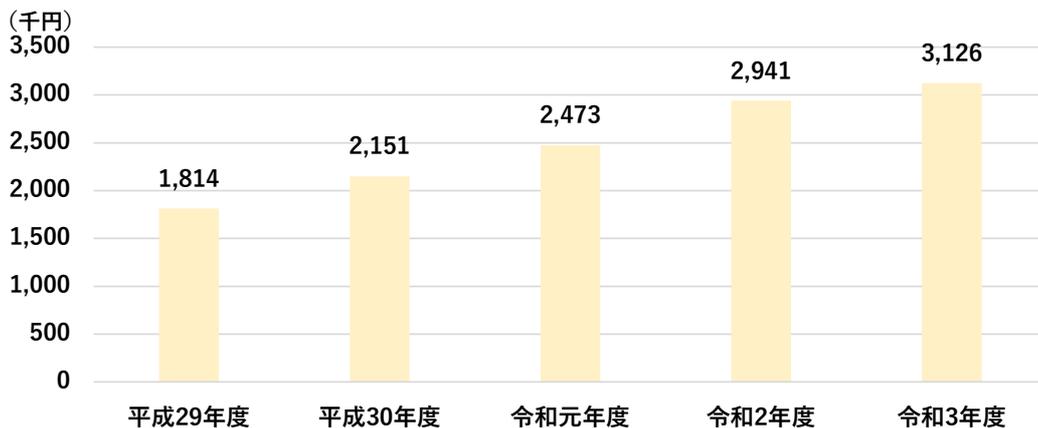


図 川倉の湯っこバスへの市の財政負担額（支出）の推移

資料：五所川原市

⑥市浦医科診療所患者送迎タクシー

市が委託して運行している桂川方面、太田・相内方面、十三方面、磯松・脇元方面から市浦医科診療所までを運行する市浦医科診療所患者送迎タクシーの概要については、次のとおりです。

市浦医科診療所患者送迎タクシーは、患者送迎バスから予約型の患者送迎タクシーの運行に移行した令和3年度（2021年度）でも市の財政負担額が大きく減少しています。

表 運行概要

路線名	運行経路等		運行本数		交通事業者
	起点	終点	運行曜日	午前 (往復)	
桂川方面	桂川地区	市浦医科診療所	月～金曜日	1	(有)市浦タクシー
太田・相内方面	太田・相内地区			1	
十三方面	十三地区			1	
磯松・脇元方面	磯松・脇元地区			1	

※市浦医科診療所患者送迎タクシーの料金は無料です。

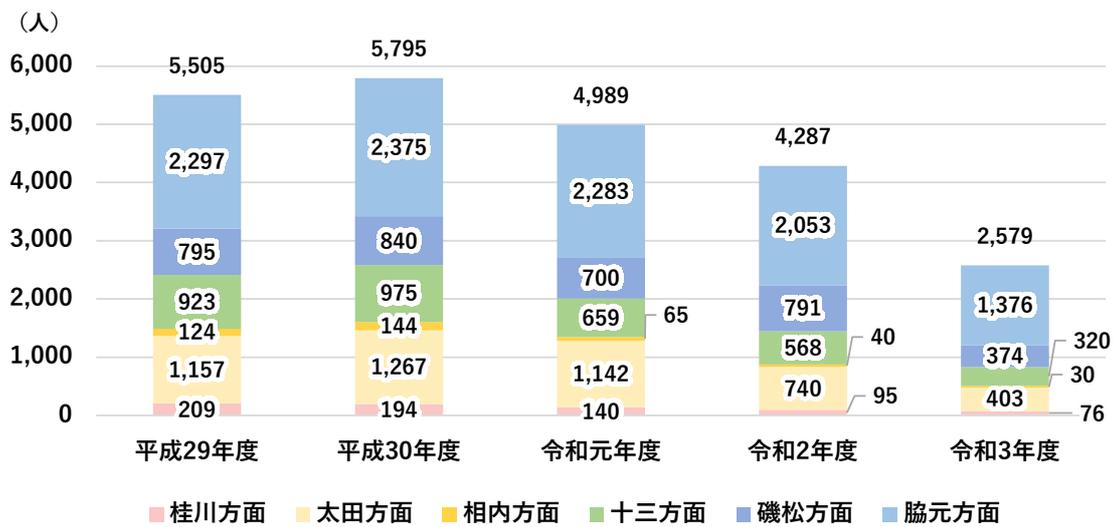
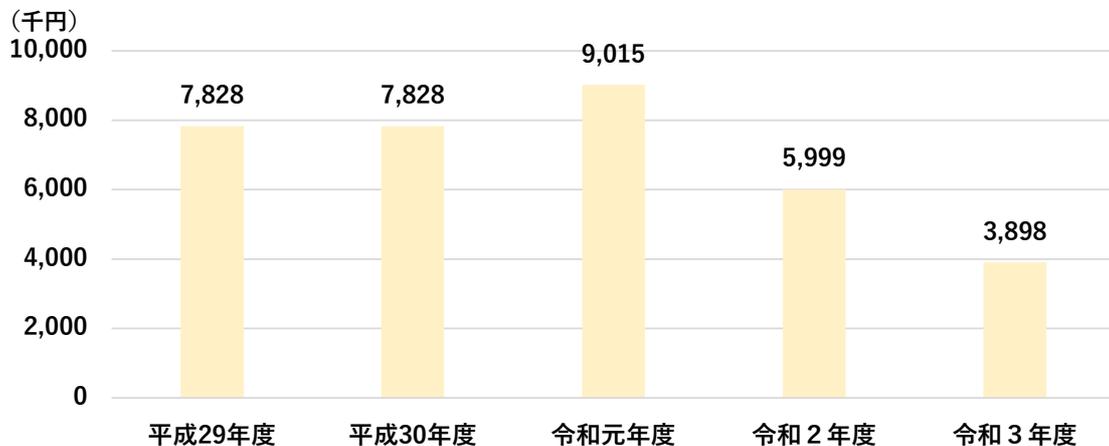


図 利用者数の推移

資料：五所川原市



※平成29年度から令和2年度までは患者送迎バス。令和3年度から患者送迎タクシー。

図 市浦医科診療所患者送迎タクシーへの市の財政負担額 (支出) の推移

資料：五所川原市

⑦五所川原市スクールバス・タクシー

市教育委員会が委託して運行している小学校・中学校のスクールバス・タクシーの概要については、次のとおりです。

スクールバス・タクシーの利用者数はほぼ横ばいではあるものの、市の財政負担額は増加傾向となっています。

表 運行概要

地域名	学校名	運行車両区分
五所川原地域	三輪小学校、五所川原第二中学校、 五所川原第四中学校(冬期のみ)	バス・タクシー
	三好小学校、五所川原小学校(冬期のみ)、東峰小学校、 いずみ小学校、五所川原第一中学校	バス
	五所川原第三中学校(冬期のみ)	タクシー
金木地域	金木小学校	バス
	金木中学校	バス・タクシー
市浦地域	市浦小学校、市浦中学校	バス・タクシー

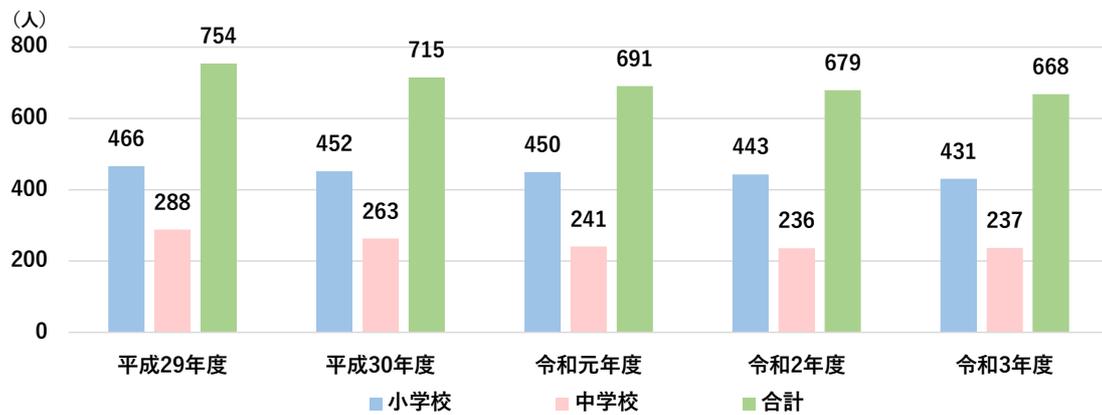


図 利用者数の推移

資料：五所川原市教育委員会

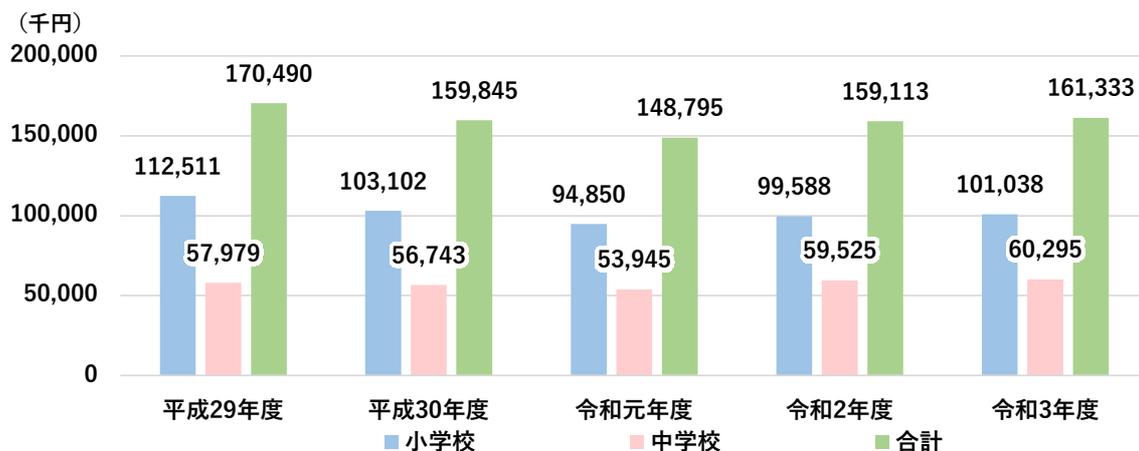


図 スクールバス・タクシーへの市の財政負担額（支出）の推移

資料：五所川原市教育委員会

(2) その他の交通資源

①薬局バス

五所川原市、弘前市などに拠点を有する薬局が独自に市内を運行している移動サービス「薬局バス」があります。

### 3-3 公共交通ネットワークの現状等

#### (1) 現在の公共交通ネットワーク

本市における公共交通ネットワークの現状は、次のとおりです。

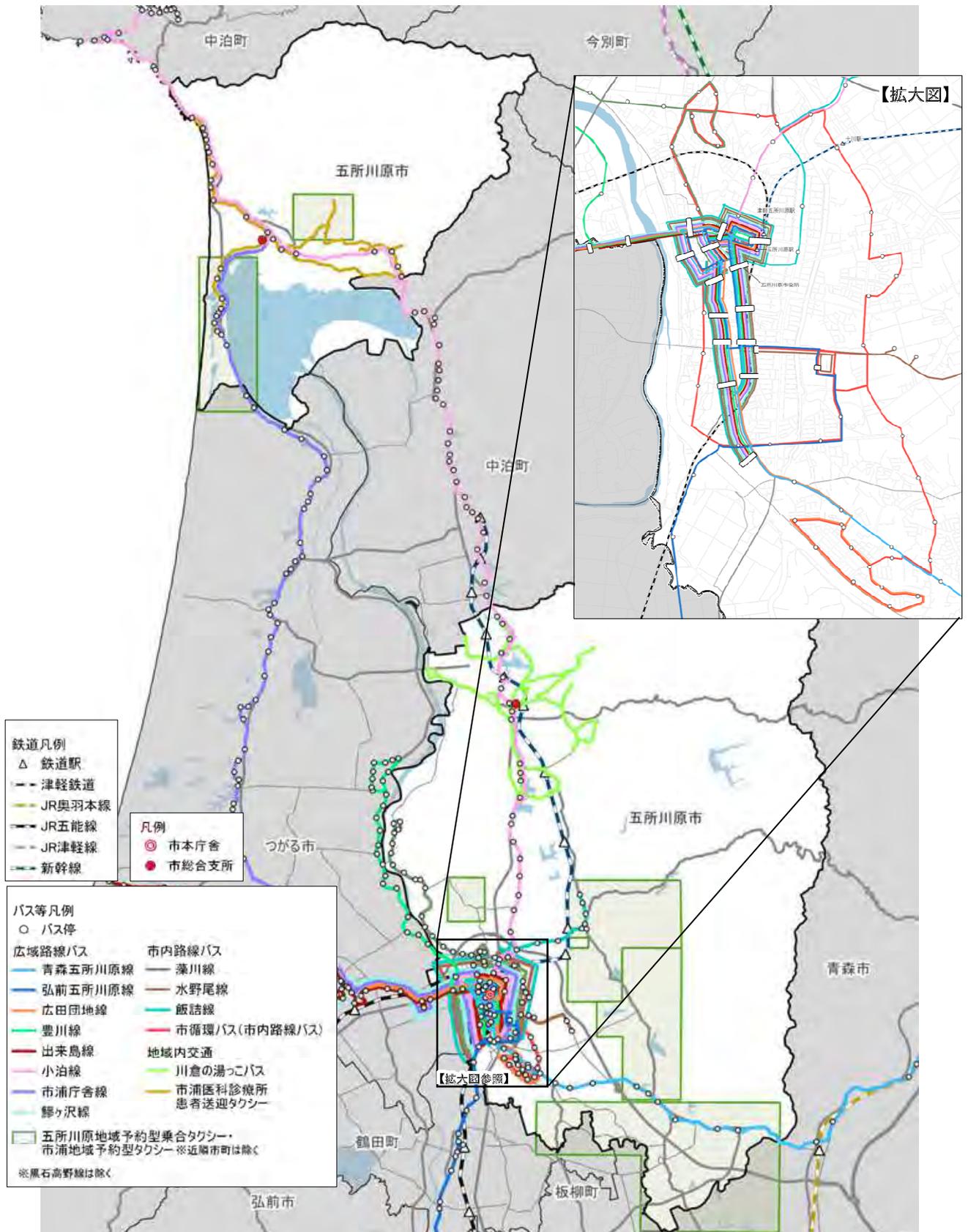


図 市内の公共交通ネットワークの現状

(2) 公共交通のカバー状況

本市における公共交通のカバー状況は、次のとおりです。ただし、地区によっては運行便数等に偏りが見られます。

表 各地域のカバー状況

地区名	地区総人口	バス停 300m※と 駅 500m バッファ内人口	カバー率
五所川原地域 (街なか居住区域)	7,085 人	6,280 人	88.6%
五所川原地域 (街なか居住区域外)	34,797 人	23,731 人	68.2%
金木地域	7,717 人	7,366 人	95.4%
市浦地域	1,751 人	1,418 人	81.0%

※メッシュ内人口のため、国勢調査等の総人口とは合致しない。カバー率は「地区総人口/バッファ内人口」で算出。

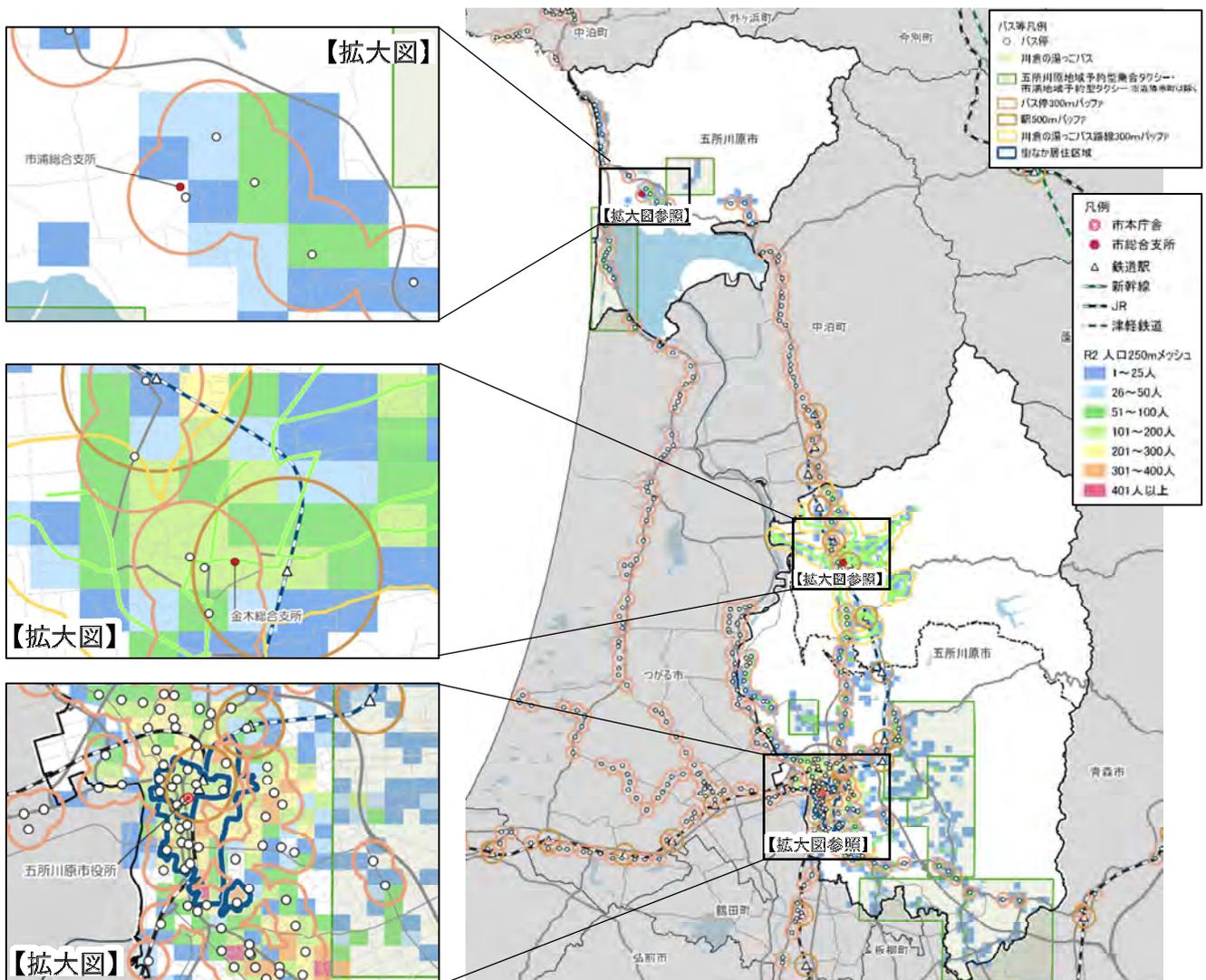


図 各地域のカバー状況

(3) 市内の公共交通空白地域

市全体では、主要な沿線などにおいて一部公共交通空白地域がみられます。

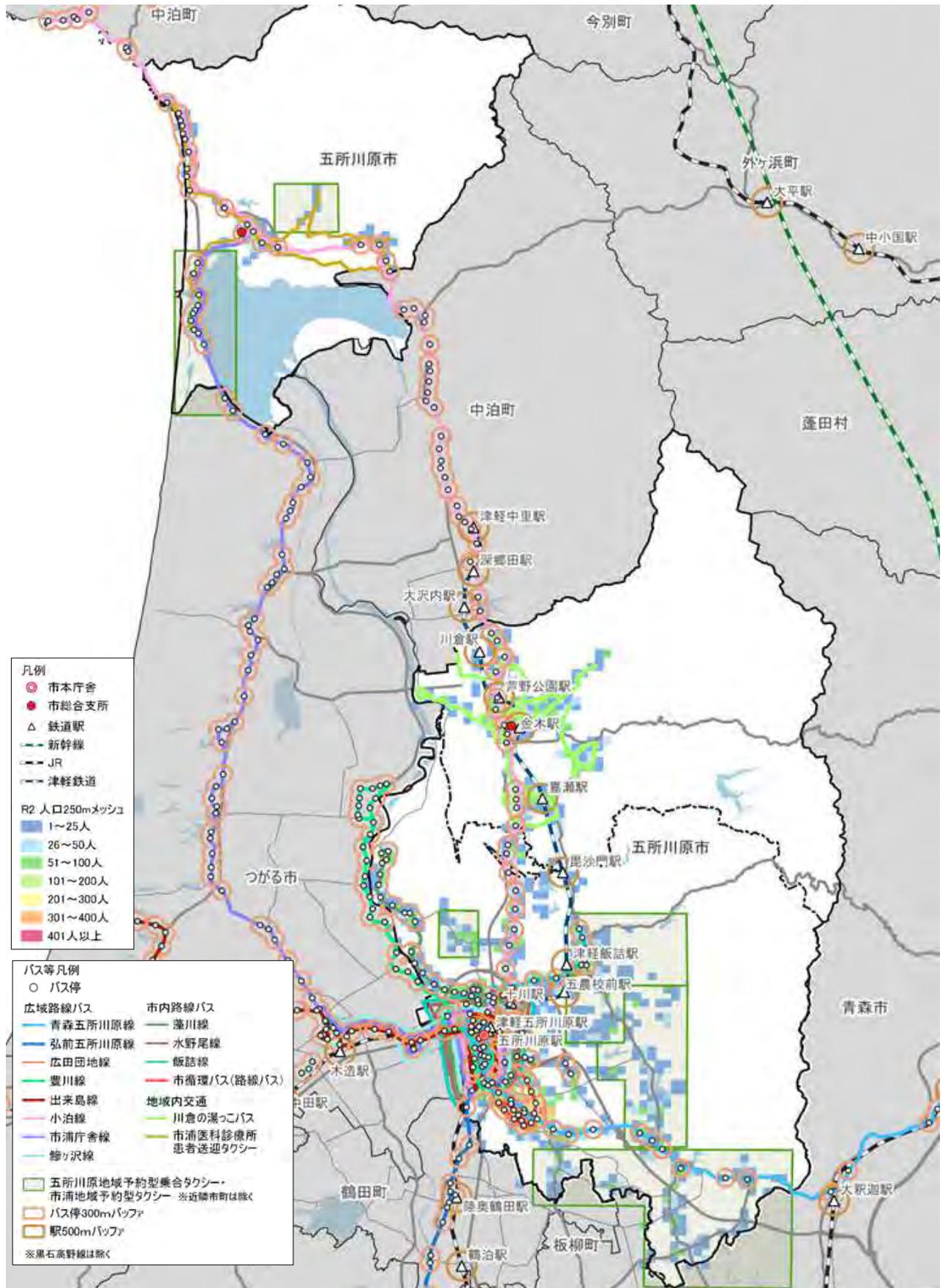


図 市内の公共交通空白地域



## 第4章 公共交通の課題

## 第4章 公共交通の課題

### 4-1 本市における公共交通の課題

#### 課題1 まちづくりと連携した交通体系の構築が必要

関連計画である五所川原市立地適正化計画では、地域の人口密度低下に伴い、道路や上下水道などの都市基盤を適切に維持していくことが難しくなるとともに、鉄道や路線バスなどの公共交通利用者が減少して移動手段が確保できなくなるなど、様々な弊害が生じることが課題であるとしています。

このため、人口減少時代に対応した都市構造（コンパクト＋ネットワーク）の構築のため、各種都市機能が集積したまちづくりと平行して、「街なか居住区域<sup>※1</sup>」を含む市街地を中心とした、公共交通サービスの維持・向上により、広域からも人が集まりやすい都市構造を形成することで、将来的にも暮らしやすいまちづくりを進める必要があります。

#### ※1「街なか居住区域」とは

立地適正化計画制度における「居住誘導区域」のことで、人口減少社会に対応した持続的・効率的な生活サービスの提供を可能にする拠点の形成を目指す区域であり、この区域の人口密度を維持することにより生活サービスやコミュニティを確保するべく居住を誘導する区域。

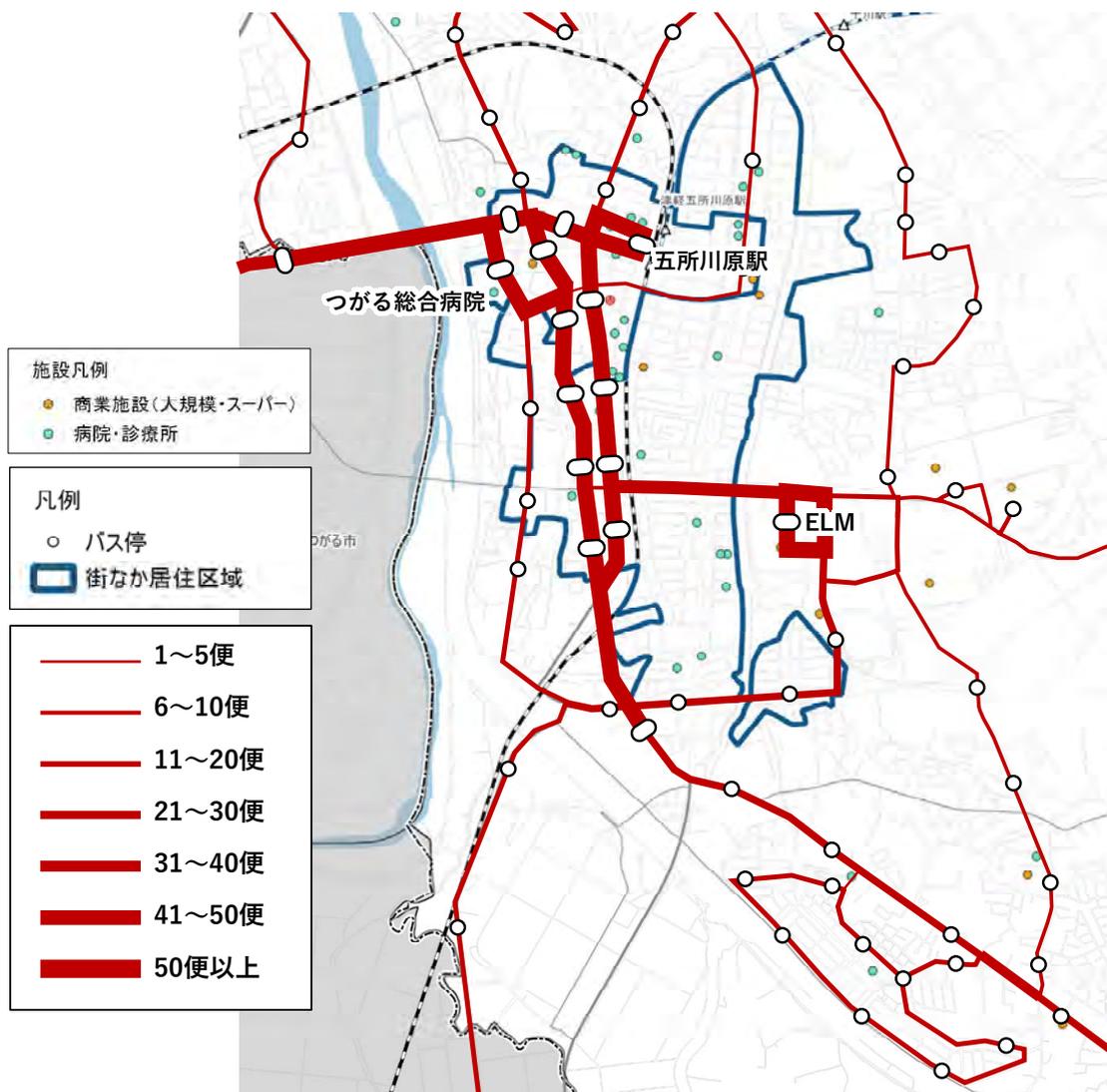


図 街なか居住区域の公共交通のカバー状況

課題2 公共交通を支える体制づくりの強化が必要

人口減少や高齢化率上昇等により地域社会構造が変化していく中、公共交通利用者減少のほか、交通事業者における運転手の高齢化や運転手不足が課題となっています。

そのため、地域と連携して公共交通を支えていく体制を構築していく必要があります。地域のニーズも踏まえながら利用の少ない市内路線を最適に再編することで、新たな利用者を獲得しながら全体の利用者を減らさないことが重要となります。

広域路線のうち路線バス（特に市内南北軸）では、県や沿線自治体と連携し、利便性や利用率向上に向けた取組を推進していくこと、鉄道にあっては、観光などの他分野と連携し、需要の取り込みを図ることも必要です。

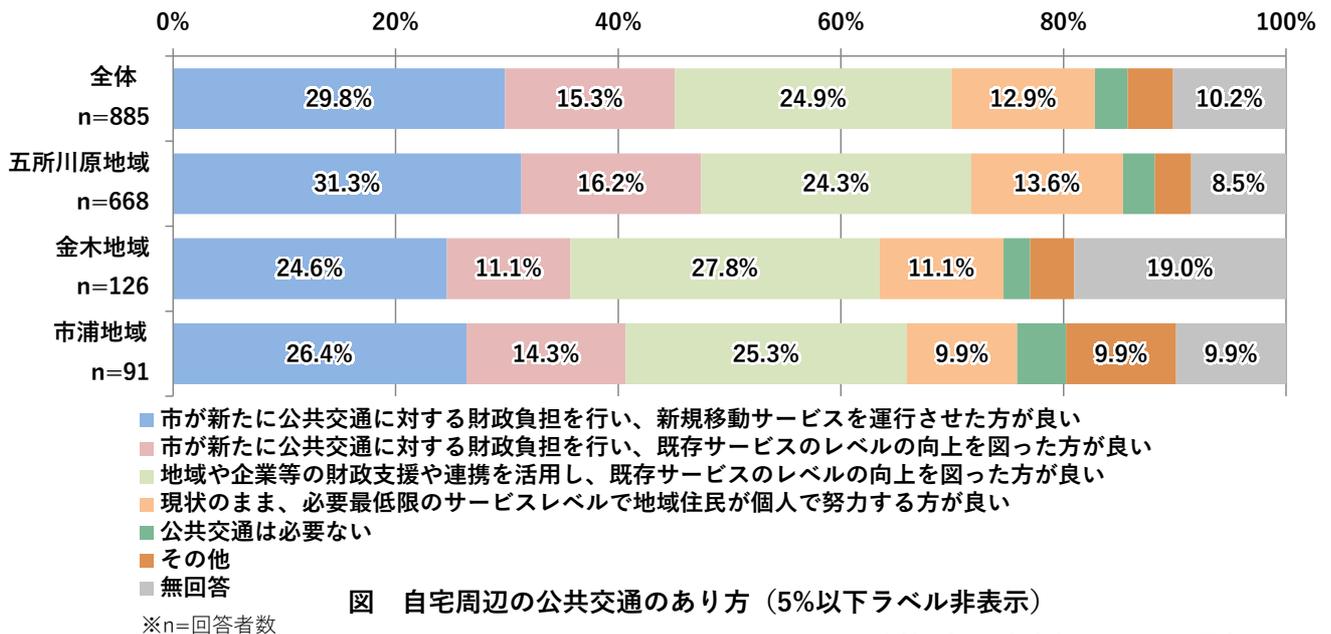


図 自宅周辺の公共交通のあり方（5%以下ラベル非表示）

資料：令和4年度市民アンケート調査

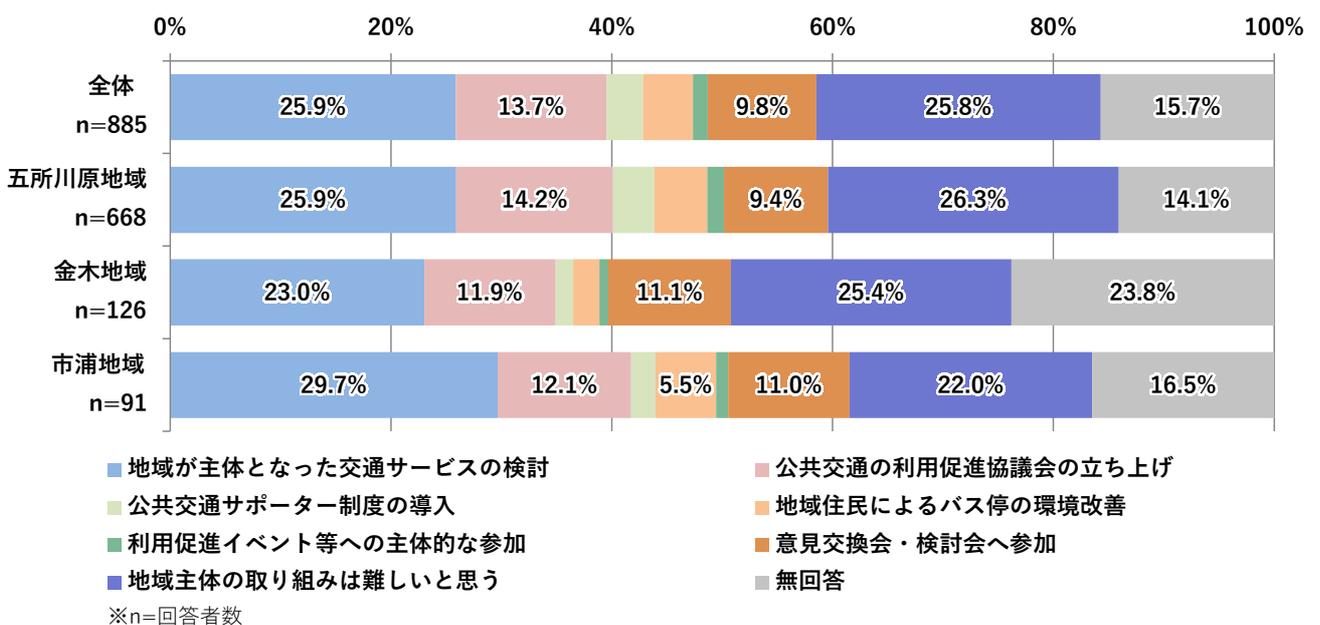


図 地域に必要な取組（5%以下ラベル非表示）

資料：令和4年度市民アンケート調査

課題3 交通弱者に対応した公共交通が必要

アンケート調査の結果、高齢者層の半数近くが「歩行可能な距離が1000m以下」、「歩くことが難しい」と回答しているほか、自動車運転免許証返納者数が増加傾向にあるなど、移動手段を持たない市民の増加が懸念されます。

また、県立高校の再編により金木地域、市浦地域の高校生は、自家用車や公共交通を利用して五所川原地域又はつがる市に立地する高等学校へ通学する必要があります。

このため、買物、通院、通学等に利用できる公共交通の確保と利便性の向上が必要となります。

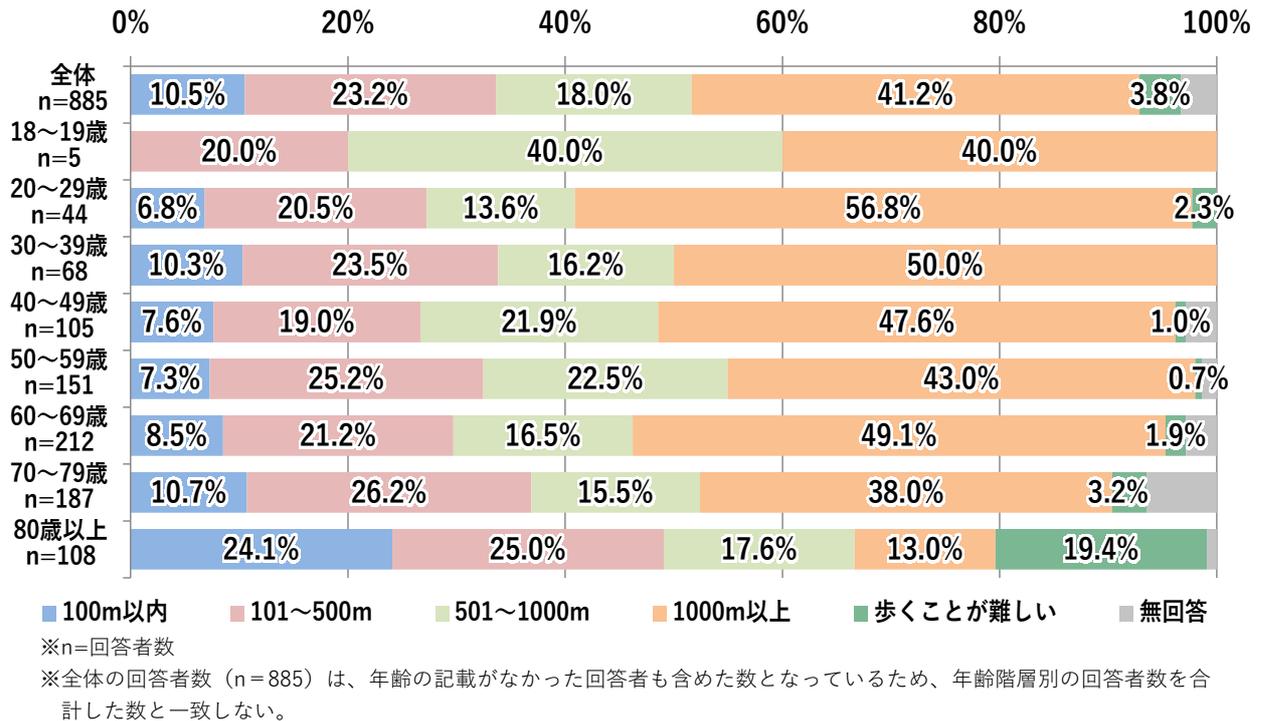


図 年齢階層別に見た歩行可能な距離 (無回答ラベル非表示)

資料：令和4年度市民アンケート調査

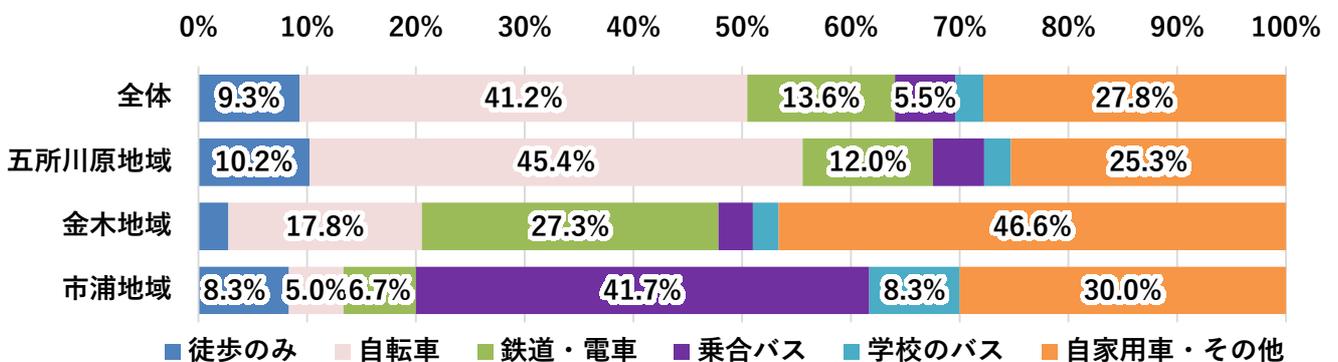


図 市内の15歳以上の通学手段 (5%以下ラベル非表示)

資料：国勢調査 (令和2年)

課題4

人口減少・少子高齢化社会に対応するための交通資源の有効活用が必要

人口減少が進み、公共交通利用者が減少すると公共交通サービスについて縮小、廃止をせざるを得ない可能性があります。

そうした課題に対応するためには、スクールバスと公共交通の統合など、現存する交通資源を有効活用して、限られた財源の中でサービスレベルを維持していくことが必要となっています。

また、公共交通以外の移動サービスと適切に連携し、重複路線の解消を図ることで適正な財政負担に努め、安定したサービスを提供していくことが急務となっています。

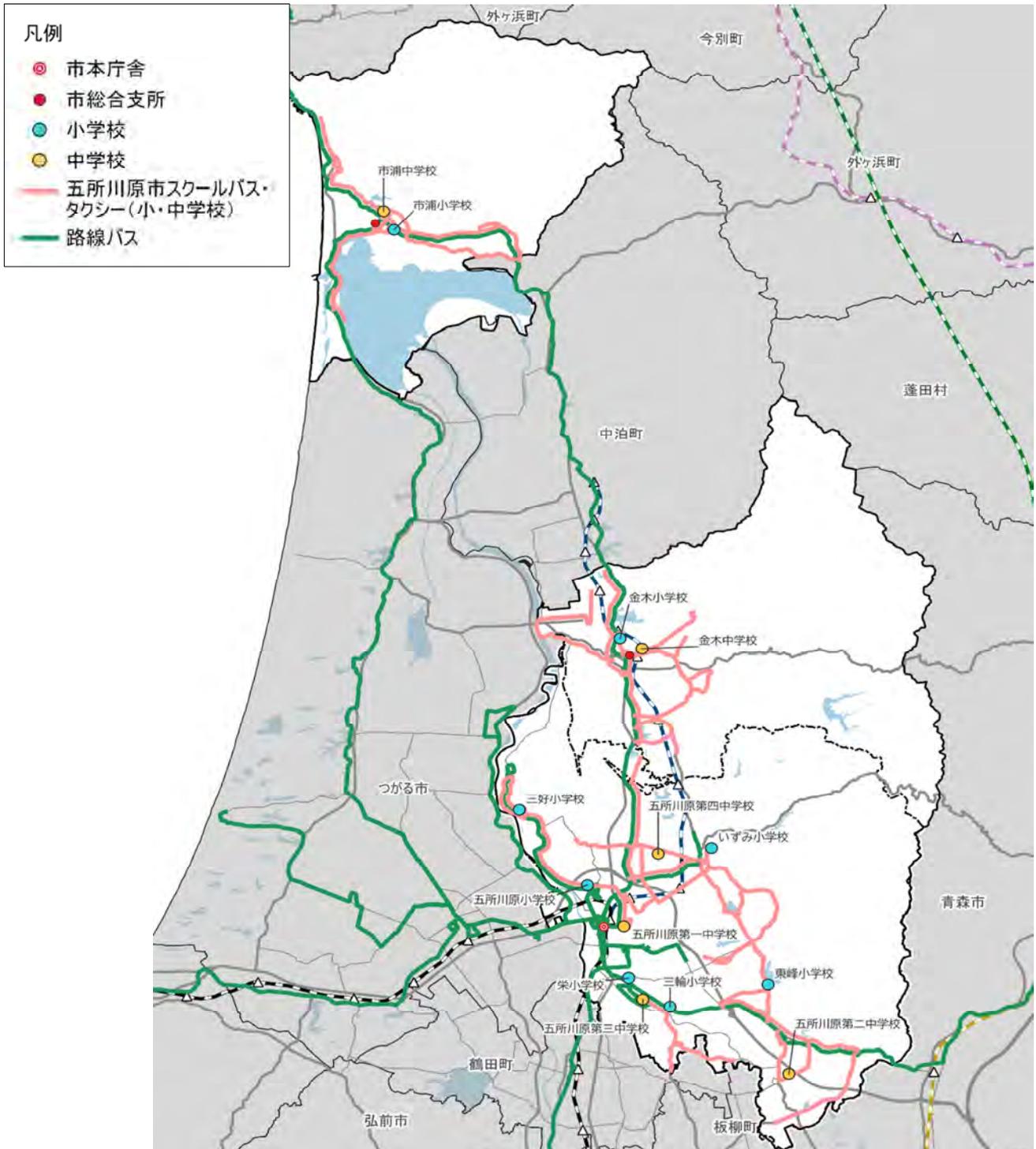


図 路線バスとスクールバス運行経路

課題5

公共交通の利用方法など分かりやすい情報提供・利用促進が必要

公共交通を利用する際の案内が分かりづらいほか、ホームページ上に運行経路図やダイヤが表示された網羅的なマップの掲載がないため、普段公共交通を使い慣れていない方にとって利用しにくい状況となっています。

公共交通の利用促進に向けては、行政や交通事業者が分かりやすい形で情報を提供し、公共交通のサービス内容や乗り方などを理解してもらうことが必要です。

### 弘南バス小泊線(金木経由)が 利用しやすくびります!!

行政連絡バスの廃止に伴い、金木地区・市浦地区住民の方を対象に市浦地区～金木地区～五所川原地区間の、弘南バスでの移動が片道200円(弘南バス「小泊線(金木経由)」の対象便のみ)で可能になります。  
また65歳以上の方、運転免許返納者は無料となります。

#### 利用方法

**ステップ1**  
金木総合支所、市浦総合支所の窓口にて申請用紙一式(申請用紙は別紙、4ページに必要書類一覧を記載)を提出し、「登録証」または「無料登録証」を受け取る。  
登録証(オモテ面)      無料登録証(オモテ面)

**ステップ2**  
各支所の窓口で「登録証」、「無料登録証」を提示し、利用申請書を記入して行き先に応じた「利用券」(登録証保有者は利用券1枚につき200円と引き換え)を受け取る。

利用券(五所川原地区～金木地区)      利用券(五所川原地区～市浦地区)      利用券(金木～市浦地区)

**ステップ3**  
利用券使用可能便のバス降車時に、登録証をバス乗務員に提示し、利用券を乗務員へ入れる。  
※利用券が使用可能な便は2ページに掲載したものととなります。

### 弘南バス「小泊線(金木経由)」利用券使用可能便

#### 小泊→五所川原(上り) バス運行ダイヤ(主な停留所抜粋)

乗バス	最終	市浦総合支所	利根駅前	金木駅前	つが塚駅前	五所川原駅	五所川原駅前	最終
小泊案内所	5:50	6:24	7:15	7:15	7:40	7:43	五所川原駅前	8:05
小泊案内所	7:00	7:34	8:25	8:25	8:50	8:53	五所川原駅前	9:15
小泊案内所	7:55	8:29	9:20	9:20	9:45	9:48	五所川原駅前	10:10
小泊案内所	10:55	11:29	12:20	12:20	12:45	12:48	五所川原駅前	13:10
小泊案内所	14:55	15:29	16:20	16:20	16:45	16:48	五所川原駅前	17:10
小泊案内所	17:15	17:49	18:40	18:40	19:05	19:08	五所川原駅前	19:30

#### 五所川原→小泊(下り) バス運行ダイヤ(主な停留所抜粋)

乗バス	最終	五所川原駅前	つが塚駅前	金木駅前	利根駅前	市浦総合支所	五所川原駅前	最終
五所川原駅前	7:05	7:20	7:23	7:44	7:45	8:28	五所川原駅前	9:25
五所川原駅前	11:30	11:45	11:48	12:09	12:10	12:56	五所川原駅前	13:50
五所川原駅前	12:25	12:40	12:43	13:04	13:05	13:51	五所川原駅前	14:40
五所川原駅前	14:00	14:15	14:18	14:39	14:40	15:26	五所川原駅前	16:20
五所川原駅前	16:00	16:15	16:18	16:39	16:40	17:26	五所川原駅前	18:15
五所川原駅前	17:35	17:50	17:53	18:14	18:15	19:01	五所川原駅前	19:50

※対象となる便は上記の赤枠内の便のみとなります。  
12月29日～1月3日及び土日祝日は利用券は使用出来ません。

#### 各地区停留所一覧

**市浦地区**  
下橋元～橋元～上橋元～金木高校西通分枝前～橋元入口～しづらん～海濱前  
～磯松北口～磯松～磯松南口～十三連～下相内～相内北口～市浦庁舎前～下相内～相内南口～下木田～木田～木田南口～上木田

**金木地区**  
川原北口～川原～川原南口～深の川～青野公園前～金木案内所～金木寺町  
～斜陽館前～金木病院前～自動車学校前～善港北口～善港～善港南口～中柏木通り

**五所川原地区**  
下橋元～長尾～上長尾～豊沙門～豊沙門十文字～在田～お蔭路～磯崎～灰原～十一川橋前  
～下平井町～豊徳町～相町～大町～本町～つがる総合病院～五所川原駅前～布屋町～田町

※上記の五所川原市内停留所での乗降のみ、利用券を使用できます。中泊町管内で乗降した場合は乗車券は使用できません。その場合は弘南バスの通常運賃となりますので、ご注意ください。

### ～梅沢・七和地区の皆さまへ～

令和4年4月1日から

## 予約型乗合タクシー

が新しくびります!

ご利用料金は1人1回300円

ご予約の乗合タクシーは、道路幅が狭い弘南バスが交通圏外から梅沢地区を対象とした予約型の乗合タクシーです。【詳細は裏面へ】

予約・お問合わせ先

**五所川原交通株式会社**  
☎0173-34-3237(午前8時30分～午後5時)

運行曜日・時間

○運行曜日: 毎週 火・金曜日(年末年始・祝日も除く)

○運行時間(五所川原発着)

石巻1 乗車 7:50      降車 12:10

石巻2 乗車 8:15      降車 14:50

弘南バス(梅沢・七和)地区発着の予約型乗合タクシーは、詳しくは裏面に記載してあります。乗降の際は乗車券を提示してから15分前までに発着の予定です。お乗り合い形式のため、乗降時間が前後することがございますので、ご了承ください。

【予約型乗合タクシーについて】  
予約型乗合タクシーは、利用者の自宅から五所川原駅まで運行する乗合型の予約型タクシーです。これまで弘南バス(五所川原営業所)でのみ乗降可能でしたが、4月1日からは五所川原駅での乗降も可能になります。

【ご利用料】  
料金は1人(片道)300円です。

【ご利用の手順】  
①事前にタクシー会社へ電話で予約する。  
ご利用日当日の17時までに、乗降場所(乗降場所)を併せて予約してください。  
往復で利用される場合は、予約する際にも併せてご予約ください。(帰りのみの利用も可能です)  
(ご予約)五所川原交通株式会社 電話:0173-34-3237

②予約した日時に、自宅から予約型乗合タクシーに乗車し、乗降場所(乗降場所)へ移動する。  
③乗降場所から乗降バスを乗り換え、目的地へ向かう。  
予約型乗合タクシーから利用しやすい弘南バスは以下のお客様をご覧ください。  
1行(往復)料

弘南バス(五所川原)乗合タクシー往復料	弘南バス(五所川原)乗合タクシー往復料	五所川原地区乗合タクシー往復料	五所川原地区乗合タクシー往復料
行き①便 7:35	五所川原～砂ヶ沢線 7:45	行き①便 7:50	五所川原～砂ヶ沢線 8:00
行き②便 9:00	五所川原～砂ヶ沢線 9:05	行き②便 9:15	市浦線バス(石白)バス 9:30

【乗り(往復)料】

五所川原地区乗合タクシー往復料	五所川原地区乗合タクシー往復料	弘南バス(五所川原)乗合タクシー往復料	弘南バス(五所川原)乗合タクシー往復料
市浦線バス(石白)バス 12:10	帰りの便 12:10	五所川原～砂ヶ沢線 12:25	帰りの便 12:25
市浦線バス(石白)バス 14:50	帰りの便 14:50	五所川原～砂ヶ沢線 15:00	帰りの便 15:05

※弘南バス(梅沢・七和)地区発着の予約型乗合タクシーは、詳しくは裏面に記載してあります。

【注意事項】  
-事前に予約された乗合のみ運行します。  
-予約をキャンセルされた場合はキャンセル料は発生しませんが、突然のキャンセルが繰り返される場合は、利用をお断りすることがございます。

【お問合わせ先(予約以外)】  
-設備バスに関すること 弘南バス(株)五所川原営業所 電話:(0173) 35-3212  
-その他のご事情について 五所川原市建設部都市・交通課 電話:(0173) 35-2111

図 HPに掲載している資料の例  
(上から小泊線利用者補助事業、予約型乗合タクシー)